



ヤングミセス通信

今回は令和4年11月8日に海部地域農業者セミナーを開催し、ベクトルデザイン和性真澄氏より「SNS活用 はじめの一步セミナー」と題して講演された内容の概要を紹介します。



農業×SNS活用

1 SNSとは

SNSとはソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。人とのコミュニケーションをインターネットで促進するサービス。

SNSを農業で活用するメリット

- ・全国に向けて発信できる。
- ・効率が良い（時間・労力の面）
- ・差別化が図れる
- ・誰でも無料でできる・・・等



2 SNS媒体の紹介

Twitter



- ・20代が多い、平均36歳
- ・拡散力が高い
- ・目的に合う人とどんどん繋がれる
- ・情報が早い
- ・炎上に注意
- ・社会性の高い話題が多い
- ・マスコミが取材先を探す時よく使う

Facebook

- ・30代後半～40代以上が中心
- ・実名の安心感
- ・友達の友達に拡散
- ・コメントやりとりが多い
→フォローした相手との交流や繋がりを求める傾向が強い
- ・若年層は少ない



Instagram

- ・10代と20代が半数以上を占める
- ・写真で売れる
- ・世界観が作れる
- ・#（ハッシュタグ）が重要
- ・個別にフォローされていなくても興味ある層にリーチできる



LINE公式アカウント

- ・幅広く全世代が利用
- ・ファンに向けて配信
- ・個人のLINEに届ける
- ・友達との会話のようにやりとりできる
- ・送受信側ともに気楽に使える
- ・1 to 1の会話も可能
- ・ゲリラ的なお知らせ（セール、キャンペーン）
- ・個人客向き



T i k T o k

- ・スマホ向き 動画共有サービス
- ・ショート動画の投稿/閲覧
- ・撮影→投稿のハードルが低い
(撮影時に倍速調節可能、アプリ内で簡単に加工可能)
- ・隙間時間に楽しめる気軽さ
- ・短時間に多くの情報を収集できる



どのコンテンツも闇雲に開設するのではなく、1つをしっかりと取り組みましょう！

3 SNS投稿のコツ

- ・農作物のお勧めポイント
- ・農家だから書けるマメ知識
- ・大変だけど手間をかけていること

どんな人がどのように作っているのか知ってもらうことで、安心して購入してもらう

Twitter や Instagram など商品価値を紹介し、最終的に商品が購入できる場所（オンラインショップ、販売店名等）＝ゴールを示す。

○何のために投稿するのか明確に

- 明確になっていないと・・・
- 投稿に一貫性がなく、バラバラに
- 何を投稿すればいいのかわからなくなる
- モチベーションが保てなくなる



○商品や農園にオリジナルネーミング(愛称)をつける

- ↓
- ↓
- ↓
- 人の記憶に残る
- 愛着を持ってもらえる
- 検索する時に探しやすい

○専門用語は分かりやすく噛み砕く

- 相手は用語を知らない。例) 摘蕾(てきらい)→つぼみの状態で摘み取る。

○「誰が、何を、どう作っているのか」を意識する

- ・写真は人が入っていた方が目を引く
- ・作業の過程を見せる
- ・作業時の気持ち（苦勞を明るく書く）・・・など

「SNSは伝える手段」の一つ。

商品価値(作り手のこだわりや思い、生産過程など)を顧客に知ってもらい、信用を得るためのツール

出典

令和4年11月8日開催 海部地域農業者セミナー

～SNS活用 はじめの一步セミナー～ 講師 ベクトルデザイン和性真澄氏